



「左義長in鳴門西」と昔の遊び



平成30年1月14日（日）、鳴門町高島の鳴門西小学校運動場で、しめ縄などの正月飾りを燃やす恒例行事「左義長」が行われました。また、併せて昔の遊びを体験できるコーナーも設けられ、子どもたちは、地域のみなさんに教えてもらいながら様々な遊びを一緒に体験することができました。

子どもから大人までたくさんの方々が集まり、今年一年の無病息災を願いました。



竹や木を三脚に組んで正月飾り等を焼き、その火で焼いたお餅を食べるとその年の病を除くと言われていす。



左義長は、「三毬杖（さぎちょう）」という小正月に行われる火祭りの行事



焼きたてのお餅が入ったぜんざいで、ほっこりし、同時に無病息災を願います。



昔の遊び



コマまわし・リングまわし・けん玉など